

ハザードマップの見方

共通の凡例

● ①	避難所・一時避難場所・広域避難場所	●	浸水多発箇所(実績)	①	要配慮者利用施設	----	地区境界
🚗	車両退避場所	●	浸水被害箇所(聞き取り)	🚒	消防署・消防分署	----	行政界
🏥 ①	医科救護所	△	河川水位計	🚓	警察署・交番・駐在所		
🚧	アンダーパス	📹	河川・道路監視カメラ	○	県庁・市役所・出張所・地区市民センター		

※赤い文字の避難所・一時避難場所は、風水害のおそれがある場合に優先的に開設します。

黒い文字の避難所・一時避難場所は、災害や避難の発生状況などにより、必要に応じた開設となります。

洪水ハザードマップ

洪水浸水想定区域は、想定される最大規模の降雨に伴う、「想定される浸水の区域と深さ」、「想定される浸水の継続時間」と、家屋倒壊・流出等が想定される「氾濫流の区域」、「河岸の侵食幅」です。

各区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であるため、区域外においても浸水や家屋倒壊等が発生する場合や、区域の想定が異なる場合があります。

浸水深の区分	想定最大規模の浸水深の想定と目安
5.0～10.0m未満	3階建ての建物が完全に水没する程度(10.0m以上) 浸水深が住居の高さを超える場所では、立退き避難が必要となります。
3.0～5.0m未満	2階の軒下までつかる程度(5.0m)
0.5～3.0m未満	1階の軒下までつかる程度(3.0m)
0.5m未満	1階の床下までつかる程度(0.5m)

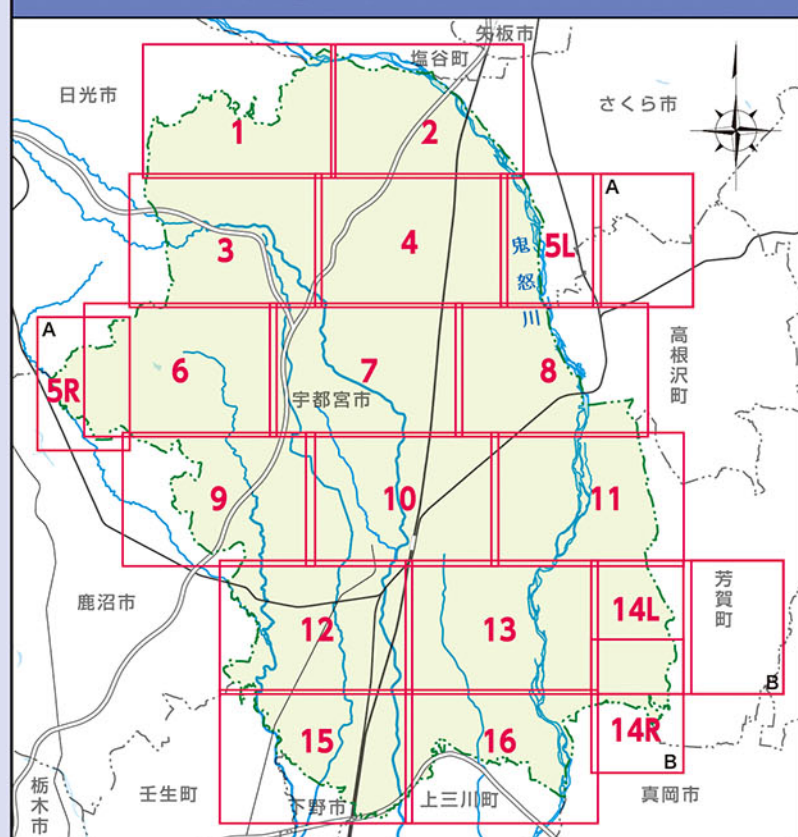
浸水継続時間

24時間	「想定し得る最大規模の降雨」によって一級河川が氾濫した場合に、浸水が継続する時間を表示しています。 浸水が継続する時間が最大24時間、最大72時間の区域を表示しています。表示がない場所においては最大12時間となります。
72時間	

家屋倒壊等氾濫想定区域

氾濫流	木造家屋が倒壊するような堤防決壊等に伴う氾濫流が発生するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要な区域。
河岸侵食	家屋が倒壊するような河岸侵食の発生するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要な区域。

洪水ハザードマップ



河川名	対象降雨(想定最大規模降雨)
鬼怒川	鬼怒川流域、石井上流域の72時間総雨量669mm
田川	田川流域の6時間総雨量364.9mm
姿川	姿川流域の24時間総雨量634.1mm
釜川	釜川流域の6時間総雨量364.9mm
武子川	武子川流域の24時間総雨量688.0mm
赤堀川	赤堀川流域の6時間総雨量449.0mm
新川	新川流域の24時間総雨量690.0mm
江川	江川流域の6時間総雨量449.0mm
御用川	御用川流域の6時間総雨量364.9mm
奈坪川・石川・谷田川	奈坪川流域の6時間総雨量449.0mm
山田川	山田川流域の6時間総雨量438.8mm
前川	前川流域の6時間総雨量449.0mm
逆川	逆川流域の6時間総雨量449mm
寅巳川	寅巳川流域の6時間総雨量449mm
西鬼怒川	西鬼怒川流域の24時間総雨量690.0mm
赤川	赤川流域の24時間総雨量690mm
江川(真岡)	江川(真岡)流域の48時間総雨量783mm
清水川	清水川流域の24時間総雨量688mm

内水ハザードマップ

内水ハザードマップは、市街地の都市化や土地利用の変化により、雨水が浸透しにくくなっている主に市街化区域(下水道計画区域)を対象に、想定される最大規模の降雨が発生した場合の「内水による浸水が想定される区域」や「想定される浸水の深さ」を、シミュレーションによって想定したものです。

想定条件(想定最大規模降雨)

1時間に150mmの降雨

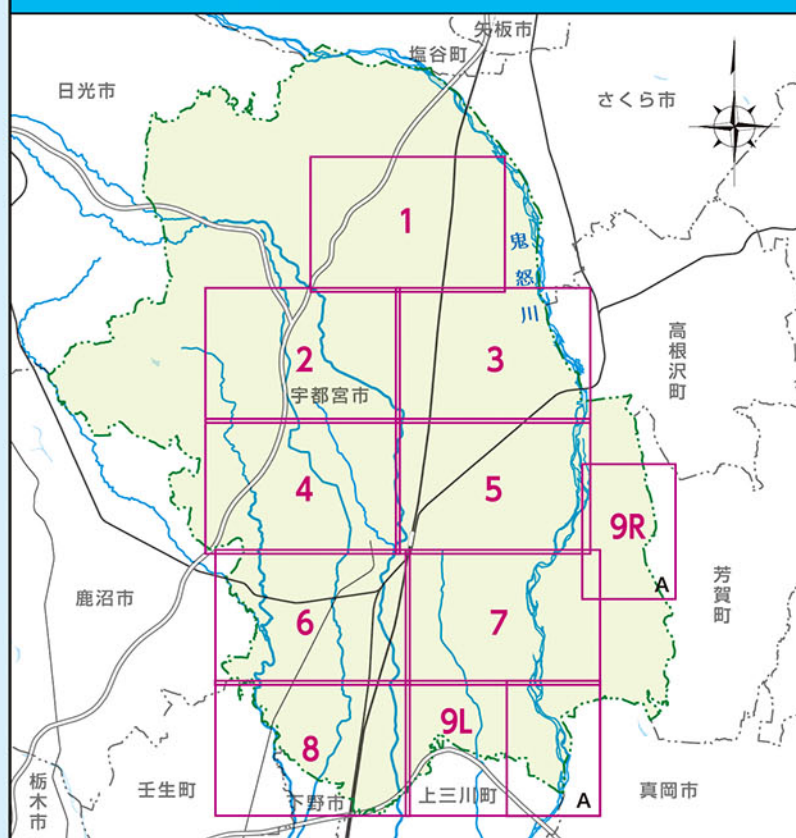
浸水深の区分

床上浸水 家屋水没のおそれ	3.0m～5.0m未満
床上浸水 2階床下まで浸水	1.0m～3.0m未満
床上浸水 大人の腰まで浸水	0.5m～1.0m未満
床下浸水 1階床下まで浸水	0.3m～0.5m未満
	0.2m～0.3m未満

※シミュレーションの範囲内で着色がない箇所につきましても道路冠水程度(0.2m未満)の浸水が発生する場合がありますので避難の際には注意してください。
※3.0m～5.0m未満の浸水が想定される箇所は、「御幸アンダー」、「塚山古墳アンダー」「宮の下アンダー」のみとなります。

- ※1 内水ハザードマップは、短時間豪雨(ゲリラ豪雨)により下水道等からあふれる浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。河川からあふれる水は洪水ハザードマップで想定しているので併せてご参照ください。
- ※2 表示した浸水想定区域及び浸水深は、想定される最大規模の降雨における浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。実際の降雨における浸水範囲や浸水深と異なる場合があります。
- ※3 この内水ハザードマップは、水防法に基づく雨水出水浸水想定区域ではありません。

内水ハザードマップ



シミュレーションエリア
対象範囲

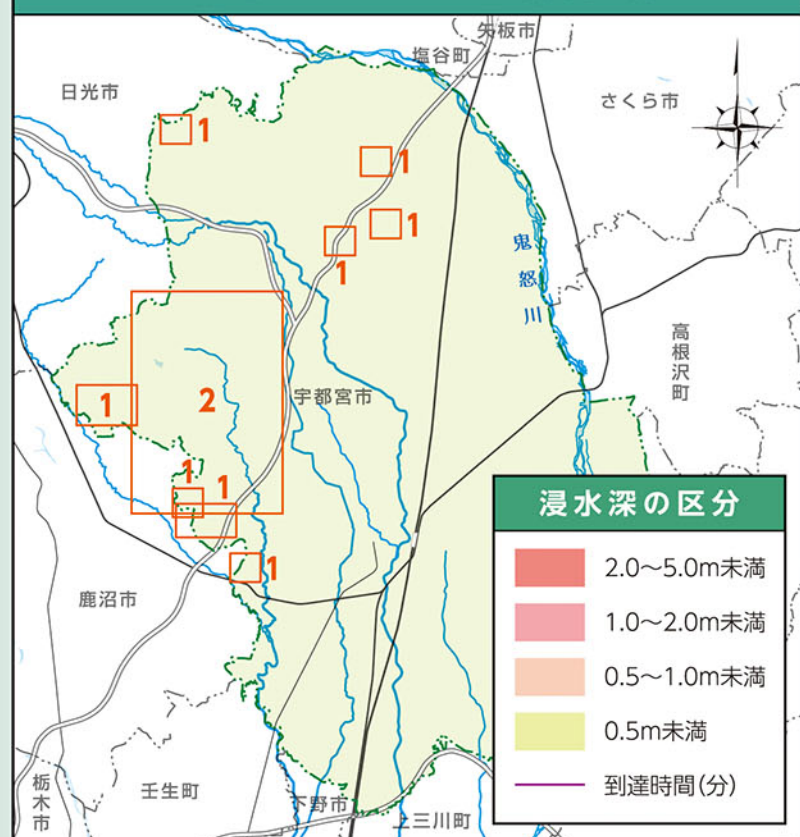
範囲外
範囲内

ため池ハザードマップ

ため池が満水状態の時に大雨や大地震を受け、堤防が瞬時に決壊するという最も不利な条件でシミュレーションを行っており、浸水が想定される最大の範囲を示しています。

実際には、ため池の水位、決壊の過程、土地利用の状況等により、浸水する区域に差異がありますので、あくまで目安としてご覧ください。

ため池ハザードマップ(浸水深)



浸水深の区分

2.0～5.0m未満
1.0～2.0m未満
0.5～1.0m未満
0.5m未満
到達時間(分)

土砂災害ハザードマップ

各ハザードマップ上で、大雨等の際に土砂災害が発生するおそれがある区域については、以下の凡例のように表示しています。

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)とは、土砂災害のおそれがある区域です。

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)とは、土砂災害警戒区域のうち、建物に損害が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域です。

土砂災害凡例

土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域

これらの区域は本ハザードマップ作成時点のものであり、現在の指定状況と異なる場合があります。最新の指定状況については、「とちぎ土砂災害警戒区域マップ」をご確認ください。



https://www.sonicweb-asp.jp/tochigi_pref/map?theme=th_20

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 5JHs 825」

「背景図は数値地図(国土基本情報)及び電子地形図25000を拡大して使用しているので、位置精度は基図に準じます。」

防災基本情報

命を守る行動

風水害・土砂災害

ハザードマップ
の見方

洪水・土砂災害
ハザードマップ

内水
ハザードマップ

ため池
ハザードマップ

避難所・
車両退避場所
一覧

要配慮者利用施設・
医療救護所一覧